

令和8年度 黄金小学校 学校経営構想図

◎ 諸関係法規

- 学習指導要領
- 第7次教育振興計画
- 山形県学校教育指導の重点
- 庄内教育事務所学校教育の重点
- 鶴岡市の教育目標
- 鶴岡型小中一貫教育の理念

地域の実情から

保護者・地域とも学校に大変協力的で、地域で子どもを育てようという意識が高い。金峯山の麓で、地域の文化や歴史が深く、素材が豊かな地域である。
農村部というものの、保護者の7割以上は会社員である。また、三世帯同居率が高く、帰宅時の児童の生活全般は祖父母に依存することが多いが全校生の約70%は、学童保育を利用している。

しっかり聴く
じっくり考える
最後まで話す

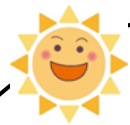
学校教育目標

**いきいき つよく
あたたかい 黄金っ子**

ふるさと黄金に 誇りをもち
自ら未来を切り拓く 子どもの育成

育みたい資質・能力

- ① 主体性 ② 表現力 ③ 関わる力



ゴールデンスマイル

めざす子ども像

- (1) よりよい目標を持ち活動する子 (いきいき) <創造>
(2) 自分で考え判断し行動する子 (つよく) <自律>
(3) 自分もみんなも大切にする子 (あたたかい) <共生>

児童の実態

素直で優しく、人懐こさがありとても友好的である。異学年の交流が多く、学年の枠を超えて仲良く活動する姿が多く見られる。反面、少人数のため人間関係が固定化しやすく、切磋琢磨しながら自信を高めてくことにやや欠ける。

～キラリアンケート(児童)から～

「元気に登校」「家庭地域でのあいさつ」「思いやりの心」の項目が高評価であり、楽しく学校に通い、友達と楽しく過ごすことができている。「家庭での読書習慣」については課題となっている。

～学校評価アンケート(保護者)から～

例年大変高い評価を頂いている。学校教育目標を97%の保護者が周知している。また、学校(学級)だより等で児童の様子を伝え、地域行事への参加もあり、「開かれた学校」としても高く評価されている。登下校の安全対策面では地域を巻き込んだ対応策が必要である。

鶴岡型小中一貫教育における小・小
及び小・中の連携、コミュニティ・
スクール制度の有効活用

めざす学校像

「児童や家庭・地域から信頼される学校」

- (1) 安全で安心して過ごせる学校
(2) 学ぶ意味や楽しさを実感することできる学校
(3) 生きる力を身につける教育を実践する学校

めざす教職員像

「児童や保護者・地域から信頼される教職員」

- (1) 経営参画意識をもち職務に邁進する教職員
(2) 児童理解に努め児童に真摯に向き合う教職員
(3) 「わかる授業」「できる授業」づくりに向かい
自己・相互研鑽に励む教職員

経営の基本方針

- 黄金地区の自然・文化・歴史・伝統を生かした「社会に開かれた教育課程」の実践
 - 「地域とともにある学校」を目指し、コミュニティ・スクール制度の有効活用を図る。
 - 目指す資質・能力の育成に向け、地域の特性を生かした体験活動の充実を図る。
- 育成したい資質・能力を育むための「カリキュラム・マネジメント」の推進
 - 学校教育目標の具現化の道筋を明確にした教育課程に基づき、組織的かつ計画的に教育活動の「質の向上」を図る。
 - 学校研究の充実と校内授業研究会の実践を通して実効性のある PDCA サイクルの構築とスパイラルアップを実現し、授業改善と目指す資質・能力の育成を図る。
 - 学校研究への取り組みを通して、校内OJTの活性化を図り、授業技術の伝承と相互研修の充実を図る。
 - 学校での学びと家庭学習を連動させ、授業と家庭学習の一体化を図る。

経営の重点

① 児童や家庭・地域から信頼される学校

- (1) 子どもと向き合う時間を生み出すための「働き方改革」を推進し、個に応じた指導の充実を図る。
(2) 児童理解に基づく適切な支援を行い、いじめと不登校のない学校づくりを目指す。
(3) 学校・学級の情報公開と家庭・地域の実態把握に務め、信頼関係の構築と連携の強化を図る。
(4) CS制度の更なる有効活用を図り、地域とともに子ども達を支え育てるより良い仕組みづくりに努める。

② 【まなび】

- ◆生きる力を身につける教育を実践する学校づくりの推進
(1) 少人数の良さを生かし、「子供たちの可能性を引き出す『個別最適化学び』と『協働的な学び』」の観点から学習活動の充実を図る。
(2) GIGA スクール端末等、ICT(タブレット端末)を有効活用し、資質・能力の確実な育成を図る。
(3) 読書の質を高めながら、「読解力」の育成と「豊かな情操」の涵養を図る。
(4) 総合的な学習の時間を中核にしたカリキュラム・マネジメント
(5) 生涯を通してよりよく生きるための基礎となる キャリア教育の充実を図る。

③ 【心と体】

- ◆困難に立ち向かう健康でたくましい子どもを育てる学校づくりの推進
(1) 教科体育を充実させ基礎体力の向上を図ると共に、粘り強く取り組む態度を養う。
(2) 「自分の命は自分で守る」安全意識と「気づき、考え、判断し、行動する」危機回避能力の育成に向けた安全教育を推進し、事故の未然防止と非常災害時対応等の危機管理を徹底する。
(3) 家庭との連携を図りながら、自立的な生活習慣の育成を図る。(メディアコントロール意識の向上)

④ 【かかわり】

- ◆自己有用感をもち、豊かな心を育てる学校づくりの推進
(1) 「いじめ防止基本方針」に基づいた実効的な取り組みと不登校を未然に防ぐ積極的な生徒指導を推進する。
(2) 児童会活動等を通して リーダー育成を図り、自治的活動を活性化させる。
(3) 異年齢集団での関わり合いを重視した教育活動や地域資源を活用した体験活動の充実による自己有用感の育成を図る。
(3) 特別支援コーディネーターを中心とする校内体制と研修を充実させ、「個別の支援計画」「個別の指導計画」に基づいた適切な就学支援を行う。